

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年7月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104548
法人名	医療法人 敬天会
事業所名	グループホーム いしき
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷台四丁目34番50号 (電話) 099-229-1010
自己評価作成日	平成30年6月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年6月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・毎朝礼時に理念を唱和し、また黙想を30秒間ほどしていただき、個人としての一日の流れを組み、各々発表してもらい仕事に入る。
- ・理念をいつも頭に置き、介護に取り組む。
- ・季節行事を大切にする。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは同法人の運営する介護付き有料老人ホームに隣接して建てられており、イベントの合同実施や健康管理及び緊急時の看護師の協力等、日頃から連携体制を築いている。
- ・母体医療機関を中心にした協力医療機関の定期的往診及び緊急時の対応等、24時間の医療連携体制が整っており、健康・医療面における利用者・家族の安心に繋がっている。家族の意向に沿って看取り介護にも取り組んでいる。
- ・地域の清掃活動や小学校のリサイクル活動に参加協力したり、小学生の来訪による交流や中学生の体験学習受け入れている。敷地内で実施される法人の夏祭りで、地域住民との交流にも取り組んでいる。
- ・理念に沿ったケアの一貫として利用者に季節を感じてもらえるよう、2ヶ月に1回は季節の花見等の外出を計画し、車椅子対応車を利用して全員での外出に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>施設の理念を毎朝の朝礼にて唱和し、実践するようにしている。</p>	<p>理念を毎朝唱和して共有を図り、毎月、カンファレンス時にケアの振り返りを行っている。理念は、ホームの玄関や事務室に掲示しパンフレットにも掲載している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議にて、民生委員さんより地域活動の情報を収集し、清掃活動等に参加している。地域小学生の慰問を受け入れ、夏祭り時の交流につなげている。</p>	<p>地域の清掃や小学校のリサイクル活動に参加したり、小学生の来訪や中学生の職場体験学習を受け入れている。多数の住民参加がある法人の夏祭り等で、地域との交流に努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の人々に向けての認知症を理解していただく活動は、不足していると考える。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議にて、情報の共有・理解を深め合う場としている。包括に意見やアドバイスをいただくことで、サービス向上のヒントを得ている。</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議を地域包括支援センター職員及び民生委員・家族の参加で実施し、ホームの状況報告や意見交換を行っている。地域の高齢者情報を得たり、ホームの情報を発信する機会となっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>定期的に地域包括センターや地域連携室等へ連絡・訪問し、情報交換を行っている。また、運営推進会議等で包括との意見交換を行っている。</p>	<p>市の担当者とは、電話や直接出向いての相談等で連携を図っており、研修会は情報交換の機会となっている。地域包括支援センターとは、運営推進会議等で意見交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月の会議にて情報を共有し、拘束や施錠の必要性を検討している。年2回の研修会や外部研修への参加を徹底している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置しており、法人の年2回の研修会及び外部研修にも参加して、身体拘束をしないケアについて理解を深めている。外出希望の利用者には一緒に散歩をする等、本人の気持ちに沿った対応をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないように注意を払い、防止に努めている	職員が積極的に外部の勉強会へ参加することで理解を深め、施設内の勉強会を行い理解を共有できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	その都度、周知しながら理解を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の際に資料を説明し、理解を得ていることを確認し、同意していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族様へは月に一度月報にて現状を報告し、面会時にも報告・要望を聞くなどし、情報を共有することでよりよく運営できるようにしている。	利用者には、日頃の会話や介護相談員との面談で意見等を聞いている。家族には、運営推進会議や面会時に要望等を聞いており、入浴の同性介助や嗜好品の要望が出され、その都度検討して反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度の会議にて情報を共有すると共に、日々の疑問点や改善点があれば話し合い、その都度改善するようにしている。	毎月の全体会に理事長も参加して、職員の意見を聞く機会を設けており、備品購入等の要望も良く出されて購入に繋がっている。法人での個人面談もあり、個別相談は主任・管理者が受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半期に一度、各職員自己評価を行い、職場環境等を見直す機会を設けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度施設内研修があり、知識・技術の向上の場を作っている。また、それに対してのレポートを提出して頂き、理解度を確認している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設内研修や月一度の行事等を、隣の施設（有料老人ホーム）と合同で行う機会を増やし交流するようにしている。日ごろ行き来をすることで、得たものを生かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前にご家族様も含め面談を行うことで、現状把握や不安・要望を少しでも理解することで、できる限り安心してもらえるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様とも面談を行い要望を聞くことで、入所後どのように対応していくか話をし、理解していただけるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>前施設での情報提供票や、ご本人・ご家族様の話を聞き、状態の把握をすることで、他サービスを含めた対応が行えるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人の気持ちを第一に考える様努め、少しでも良いサービスが提供できるような人間関係を築くよう努めている。1対1での対話を心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月報や面会時に状態報告を行い、要望を聞く等することで、より良い関係を築くようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様にも説明を行い、その都度面会に来ていただくようにしている。	家族や知人・友人の面会が多く、家族の協力を得て、法事や墓参り・外食・自宅訪問などの外出を支援し、これまでの関係が途切れないように努めている。年賀状や電話取り次ぎ等の支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常会話や日々のレクリエーションを通して、ご利用者様同士がより良い人間関係ができるよう支援している。お元気な方がそうでない方を気遣ってくださっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご家族様や担当ケアマネージャー等と連絡を取ることで、状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人・ご家族様間での情報を共有し、状態の把握に努め、少しでもご利用者様の希望に添えるよう、プラン作成・実施を行い、カンファレンスなどで確認している。	日常の会話で本人の思いを把握するように努めており、表情や仕草・行動から推測したり、家族や関係者等からの情報も参考にしている。情報は申し送りノートで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	前施設やご家族様より情報を収集し、把握するようにしている。ご本人との日常会話の中から得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の支援の中で、ADLや生活リズム、心身状態を把握するように努めている。情報の共有化をし、申し送りノートなどで確認している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入所時にプランを作成・実践しており、必要があれば毎月の会議にて再度確認を行い、プランの見直しを行っている。毎月のカンファレンスで確認している。	面会時や電話で家族の要望等を事前に把握し、職員の意見を参考にして介護計画を作成している。担当職員の情報からモニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月に1回及び状況変化時に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日個人記録を記入することで、日々の状態を全職員が把握するようにしている。日々の情報共有の中で、介護計画内容の見直しに努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご利用者様一人ひとりに担当がいて、担当を中心に適切なサービスを受けることができるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域で行われる行事に積極的に参加するようにし、安全で豊かな暮らしを楽しめるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>2週間に一度は定期往診があり、必要時には連絡するようにし、ご利用者様が適切な医療を受けられるよう支援している。ちょっとした異常時も、主治医に上申している。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。看護師の配置もあり、定期往診や24時間医療連携体制により、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>その都度情報の共有を行い、ご利用者様にとってより良い看護を受けられるように取り組んでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には、情報提供票やその都度他医療機関と情報を共有し、協働できるように働きかけている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期に近い状態にご利用者様になった場合やその可能性がある場合は、ご家族様に説明を行い意見を聞き、相互理解を深めている。また医療機関を含めチームで支援できるように取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書を得られている。状況変化時には主治医から説明し、家族の意向を確認しながら医師・看護師等を含めて支援に取り組んでおり、看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時対応の勉強会やマニュアルの把握を各職員が行い、行動・対応できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防隊を呼んで防災訓練を行っている。民生委員さんへの参加も促している。食料については2週間分くらいの備蓄は行っている。</p>	<p>年1回は消防署の立ち会い、1回は自主の避難訓練を昼夜想定で実施しており、民生委員や近隣の協力依頼をしている。備蓄は水・レトルト食品・米等やヘルメットも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った声かけを行う。プライバシーに関しては、居室入り口を出来るだけ閉めているが、時折確認は行っている。	年1回は研修を実施し、個々に応じた対応や言葉かけについて話し合っている。入室時のノック・さん付けでの呼びかけ・さりげないトイレ誘導等を支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必要時、その都度確認を取り行動している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけ希望に添い、ご本人の思いを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理美容は、1ヶ月に一度、訪問カットを行っている。女性の方へイベント時には、お化粧品をしてさし上げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	特にイベント時やお誕生日など、ご本人が食べたいものを聞き提供している。野菜の皮むきなど手伝っていただき、調理することで喜んでいただけている。	献立は職員が作成し、下ごしらえや下膳等を利用者も一緒にしている。行事食や誕生日の好物を聞き提供している。外食に行ったり、おやつを一緒に手づくりする等、食べる楽しみにも工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合った提供を行い、いつでも水分が摂れる環境は作れている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	仕上げ磨きなど、必要であれば職員が行っている。また、必要物品の購入など各担当で行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	必要な方への定時誘導を行っている。排泄サインを見逃さない。(急な不穏など)	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、見守りや誘導でトイレでの排泄を支援している。リハビリパンツやパット使用者が多いが、布パンツの利用者もいて、夜間はオムツやポータブルトイレも個々の状況で使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・腹部マッサージなどを行ったり、毎日ヨーグルトを提供したり、芋などのおやつ対応を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を目安に行っている。出来るだけ同性での介助を心がけている。また、異性介助を好まれない方に対しては、その時だけ同性に変わって行っている。	週3回の入浴を基本に午前中に実施し、希望で同性介助やシャワー浴も実施している。入浴を嫌がる場合は、職員を変えたりタイミングを見て声掛けして、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合った睡眠を大切にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	変更時など、職員間での情報交換・確認・記録に残している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれのレベルに大差があるものの、ひとつの楽しみ事を皆で取り組むことが多い。それに皆ついてきて下さっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節外出を大切にしており、1階入居者様全員での初詣・花見などを行っている。自宅への一時帰宅も支援を行っている。</p>	<p>日常的に周辺や敷地内の散歩を行っている。2ヶ月に1回車椅子対応車で、初詣や季節の花見・水族館等に出かけている。ドライブや自宅訪問なども行っている。家族と一緒に法事や外食等に出かける利用者もあり、戸外へ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>皆さんがお金を理解できないため、事務所にて対応しているが、少しの金額は持っている方もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をかけるのはこちらで行うが、つながれば話をしてもらう。かかって来た分には対応してもらう。お手紙は出される方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁画や外出時の写真などで、季節感を出している。テレビ前のソファでゆっくりとテレビを観たり、職員を対話したりしている。</p>	<p>リビングは明るく室温等の室内環境が快適に調節されている。対面キッチンで利用者に目が届き、災害時のヘルメットも準備されている。壁には行事の写真やアジサイの花の作品が飾られ、テレビの前でゆっくりくつろげるよう、ソファを配置し、居心地よく過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	各自席を移動して、気の合う方々と会話したりされる。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	使い慣れた小物や神棚など、持参していただいている。	出窓のある居室には電動ベッドやタンスがあり、利用者の必要や好みで、テレビや神棚・衣装掛け・時計等を持ち込んだり、観葉植物や写真を飾って安心して過ごせるように工夫されている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	一人ひとりの状況を把握し、安全に移動、過ごせるように取り組んでいる。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない